

月刊

あなたにこの本を！

平成 18 年 11 月号

大阪市立図書館

「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きめ



…中高生にも



…図・写真が多い



また飼ってみたい昭和のペット



安斉裕司 著

リヨン社 1470円 (0011251711)

ジャンル：暮らしにうるおいを

今も昔も子どもたちに人気のカブトムシ、教室で飼っていた金魚、手乗りにもなるセキセイインコ……。身近な昆虫や水生生物から血統書つきの動物まで、様々なペットたちが登場する。縁日や昆虫採集に行く子どもたち、珍獣ブームなど、各ペットにまつわる昭和の思い出を振り返る。あわせて入手方法や飼育方法も分かりやすく解説。子どもの頃遊んだ懐かしいペットたちに出会え、動物の魅力を再発見できる。親子で一緒に読んで楽しめる本。〔645.9〕



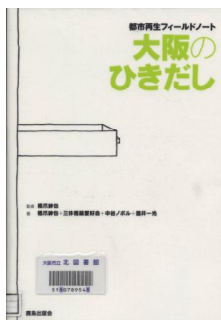
台所の一万年 - 食べる営みの歴史と未来 -

山口昌伴 著

農山漁村文化協会 2800円(0011243296)

ジャンル：暮らしにうるおいを

飽食の時代と言われて久しい日本。だが添加物漬けの食べ物、毎日出される大量の食べ残し……。これが果たして豊かな食の営みと言えるのだろうか。著者はそんな現代のキッチンのように警鐘を鳴らす。食糧の備蓄の場であり、加工調整の場ともなる芋蔵(いもぐら)など、日本古来の台所には今のキッチンにない機能性や知恵が存在する。現代人が忘れかけていた、生命を営むための「食」を再確認できる新しい食育の書。〔383.9〕



大阪のひきだし - 都市再生フィールドノート -

橋爪紳也 監修

橋爪紳也、三休橋筋愛好会、中谷ノボル、酒井一光 著

鹿島出版会 2100円 (0011241099)

ジャンル：大阪にゆかりの本

高層ビルが林立しても都市は再生しない。生活が活性化されてこそ都市は再生する。大阪では住民や勤め人たちが、気楽にまちの生活の活性化に取り組んでいる。活動の素材は、水辺の環境、近代建築、まちの歴史など大阪というダンスのひきだしから出てきた宝物。水辺のカフェ、まちの絵はがきづくり、戦前の銀行建築を活用したレストランなど、しゃれたイメージを示して文化性や生活の豊かさを追求する。21世紀型の都市再生の事例を紹介する。〔519.8〕

戦う動物園 - 旭山動物園と到津(いとうづ)の森公園の物語 -

小菅正夫、岩野俊郎 著 島 泰三 編

中央公論新社 840 円 (0011250491)

ジャンル : 自然・環境を考える

ユニークな仕掛けが話題を呼び、今や日本有数の集客を誇る旭山動物園。また、一度は財政難で閉園したが、地域住民の熱烈な支援で復活をとげた、到津の森公園。危機を乗り越え、今も戦い続ける二つの動物園の園長は、実は獣医時代からの旧友だという。彼らの対談をもとに、岩野園長の実兄で動物学者の島氏が、両動物園のたどった道のりをまとめたのが本書。動物園の可能性を模索し続ける二人のリーダーの、かざらない言葉が胸をうつ。〔480.7〕

漆 塗師(ぬし)物語

赤木明登 著

文芸春秋 2350 円 (0011233536)

ジャンル : 歴史・文化に親しむ

雑誌編集者から一転、輪島塗職人へ。そんな独特な人生を歩む著者が、自分を再発見するまでの物語。それでいて、漆器ができるまでの工程や、輪島塗界の現状についてもうかがい知ることができる。魅力的な親方や隣人に見守られ、妻や子に支えられ、職人として着実に成長を続けた著者。今や、ドイツ国立美術館で「日本の現代塗り物12人」に選ばれるまでになった。彼の作り出す器は、彼の日々の暮らしのように、あたたかく、実用的で、美しい。〔752〕

ガウディの伝言

外尾悦郎 著

光文社 998 円 (0011244460)

ジャンル : 知識・教養を深める

スペインの大聖堂、サグラダ・ファミリア。1880年代に始まった建設は、設計者のガウディ亡き後も、スペイン戦争で設計図が失われても、ゆっくりと、だが着実に進められている。それは職人達が図面に頼らず、建物に残されたガウディの意志を読み取るようにして作業を進めてきたからこそ、成し得た業(わざ)なのだ。教会正面の「生誕の門」の彫刻を担当した著者が、自身の体験を交えながら「神の建築家」の思想と人生をたどる。〔523〕

南極がこわれる



藤原幸一 写真・文

ポプラ社 1680 円 (0011245013)

ジャンル : 自然・環境を考える

写真に写っているのは、かわいらしいペンギン。だがその足下では永久凍土がとけ、目の前にはゴミの山が立ちはだかっている。人類が引き起こした地球温暖化やゴミ問題によって小さな命がおびやかされ、南極がこわれつつある。著者は、人類共通の財産である南極を、人類全体で救うことで、地球を救う大きなヒントが導き出されると語る。今南極で何が起きているのか、針金が刺さったペンギンの痛々しい姿が、何よりも強く訴えかけてくる。〔488〕

小心者の大ジョッキ

端田 晶 著

講談社 1260 円 (0011252506)

ジャンル : 暮らしにうるおいを

東京・恵比寿にあるビールの記念館の館長が、お酒に関するうんちくを語る。著者の豊富な知識を出発点にしたうんちくは、時に大胆に仮説と妄想の域に達し、さながら楽しい飲み友達を得たかのような気分させてくれる。ビールの冷やし方やおいしく飲める注ぎ方など、実際に役立つ情報もある。読むおつまみのようなこの一冊。自らを小心者と称した丁寧でユーモアあふれる文章は、酒の好き嫌い如何に関わらず楽しませてくれる。〔588.5〕